

赤崎中学校 教員研修（天文単元）

日時： 2014年11月14日

場所： 大船渡市立赤崎中学校

参加者： 赤崎中学校 教員1名、赤崎小学校 教員1名

関連単元： 中3「地球と宇宙」、小4「月や星の動き」、小6「太陽と月の形」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

通常、学校授業は昼に行うために、星や月の観察を授業中に実施することは困難である。また、天文分野の指導を難しいと感じている教員が多いと言われている。そこで今回は、放課後の時間を利用して、小・中学校の先生向けに、天文単元で使える教材を紹介した。教材は事前に郵送しておいた。先生方には、教材を手にとって使ってもらいながら、具体的な単元での使い方を説明した。

実施結果：

紹介した内容は、次のようなものである。天文ソフト「Mitaka」を使った、星座早見板の学習方法（小4）。発泡球と電気スタンドを使った、月の満ち欠けの学習方法（小6、中3）。ピンポン球とデジタルカメラを使った、金星の満ち欠けの学習方法（中3）。

先生方は、積極的に教材を手に取り、実際に授業で使う場合を想定して試して下さいました。少人数での実施であったため、途中、教材の使い方について議論することができた。

感想：

実際に物を使って紹介してくれたので、すぐにでも使ってみたいと思いました。

小学校中学校での天文単元について、お互いにあまり知ることがなかったので、良い機会となった。

